NIE実践報告

1．タイトル：卒業生に向けた誕生日新聞の記念授業

2．学校名

兵庫県宝塚市立西谷小学校

3．実践者名（代表者名）

奥田　誠治

4．学年

第6学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

社会科　19人

6．単元（本時の学習課題）名

わたしの生まれた時代

7．目標(狙い)

誕生日新聞を読み、自分たちが生まれてきた時代背景を知る。その出来事が単なる過去でなく今に生きる自分たちに大きく関わっていることを学ぶ。

8．評価の視点

自分たちの学年の1年間の記事から、連続して掲載されている大きな出来事を見つけることが出来、その変化を追うことができること。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

展開時数2時間。

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

新聞を読む機会が比較的多い学年ながら、文字の難しさを感じている。小学校6年生ということから、第一面の記事は、社会面に比べ難しい用語が使用されている点に授業のつまづきを感じる。
事前の宿題として、難しい言葉を見つけ記入させたワークシートを回収し、指導者側で解説を加え、再度児童にワークシートを返却して授業に臨んだ。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

互いの誕生日の出来事に興味を覚えている。誕生日新聞自体の興味は大きく、その日に歴史的事項が掲載されている児童にとってはより、興味が増していた。その意味では、やはりあたりはずれが生じている。

12．成果と課題

児童すべての誕生日新聞を図書館でコピーし、1部ずつ配布することにも大きな労力と時間がかかってしまった。新聞活用に準備時間を少なくするため新聞社の協力を仰ぎたいところである。この場合費用弁済が発生するため、図書館での資料収集(複写)という安価な方法をとった。児童にはやはり難しい用語をどのように解説するかに時間を要し、時代の傾向に迫るまでの時間的な余裕がなかったことが悔やまれる。また、個々の児童に自分の誕生日の出来事を説明することも、他の児童が聞く側としては、目でも読めるよう視聴覚機器やパソコン教室での提示も有効であった。